

箱根駅伝

駒大・窪田ら
登録選手発表

来年1月2、3日に行われる第90回東京箱根間往復大学駅伝に出場する23校のエントリー選手(各16人以内)が10日に発表され、出雲全日本選抜、全日本を合わせた大学駅伝3冠を目指す駒大はエースの窪田忍やユニバーシアード代表の村山謙太らを登録した。

2連覇を狙う日体大は前回大会で最優秀選手に選ばれた服部翔大が名を連ねた。2大会ぶりの頂点を目指す東洋大は双子の設楽啓太、悠太兄弟、早大は世界選手権1万5000代表の大迫傑が順当に入った。

10区間の登録選手は29日に決まる。このほかシード校の帝京大、順大、明大、青学大、法大、中央学院大、予選会を勝ち上がった東農大、山梨学院大、東海大、神奈川大、国学院大、大東大、専大、日大、拓大、城西大、上武大、中大、国士館大が出場する。

記念大会のため例年より参加は3チーム多く、関東学連選抜は編成されない。

県内中高出身者
26人エントリー

最大は西脇工高10人
兵庫県内の中学、高校出身のランナーは26人がエントリー。学校別では西脇工高OBが最大の10人を数えたほか、須磨学園高、飾磨工高の卒業生も各4人が入った。

前回1区で優勝メンバーとなった日体大の勝亦祐太(西脇工高出)、出雲全日本選抜、全日本の両大学駅伝でチームの優勝に貢献した駒大の中谷圭佑(西脇工高出)、王座奪還を目指す東洋大の延藤潤(三木高出)らは、優勝候補に挙がるチームで主力を担う。

ともにアンカーを担当した出雲全日本選抜、全日本の両大学駅伝で好走した田中瑞穂(県西宮高)も入り、「山上り」の5区を4年連続で走るか、注目を集める。

須磨学園高3年時に全国高校駅伝の1区と5区で区間賞を獲得した法大の西池和人と佐野拓馬ら、学年別では3年生が12人と突出している。

ルーキーも5人が名を連ねた。昨年の全国高校駅伝で2位に入った西脇工高のメンバーからは駒大・中谷のほか、村上優輝(中央学院大)と広田雄希(東海大)がエントリー。早大の井戸浩貴(龍野高出)、中央学院大の藤花尚之(飾磨工高出)もメンバー入りした。

兵庫県内の中学・高校出身のエントリー選手は次の通り(丸中数字は学年)。

- 【日体大】石若大武④南あわじ市立南淡中、西脇工高、勝亦祐太②静岡県御殿場市立富士岡中、西脇工高
- 【東洋大】延藤潤④三木市立自由が丘中、三木高
- 【駒大】中谷圭佑①上郡町立上郡中、西脇工高
- 【帝京大】熊崎健人③神戸市立本山南中、大阪・関大北陽高
- 【早大】志方文典④加西市立泉中、西脇工高、三浦雅裕②猪名川町立猪名川中、西脇工高、井戸浩貴①たつの市立新宮中、龍野高
- 【明大】山田速人③加古川市立平岡南中、西脇工高、前野賢行③神戸市立桜が丘中、須磨学園高、小川哲高②たつの市立龍野西中、須磨学園高
- 【法大】佐野拓馬③三田市

- 立藍中、須磨学園高、西池和人③大阪府豊中市立第十一中、須磨学園高
- 【中央学院大】田中瑞穂④西宮市立甲陵中、県西宮高
- 山田侑紀③明石市立立久保中、飾磨工高、村上優輝①神戸市立大原中、西脇工高、藤花尚之①姫路市立香寺中、飾磨工高
- 【山梨学院大】磯野裕矢②加古川市立陵南中、飾磨工高
- 【東海大】松本佳久③猪名川町立猪名川中、西脇工高
- 広田雄希①加西市立泉中、西脇工高
- 【神奈川大】柿原聖哉③宝塚市立南ひばりガ丘中、大阪・関大北陽高
- 【国学院大】広川佳暉②尼崎市立常陽中、市尼崎高
- 【専大】中山賢太③西宮市立堀瀬中、県西宮高
- 【上武大】大西淳貴③播磨町立播磨中、飾磨工高、横内佑太郎③報徳中、報徳高
- 【中大】新庄翔太③京都府綾部市立綾部中、西脇工高